



在宅避難のメリット



ペットと一緒に過ごせる

避難所へのペットの同行は可能ですが、同じ空間で生活することはできません。



感染症リスクを抑えられる

避難所は多くの人が集まる密閉空間であるため、感染症が広がりやすい環境です。



慣れた環境で安心して生活できる

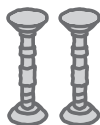
住み慣れた自宅で過ごせるため、避難所のような慣れない環境で体調を崩すリスクが低く、プライバシーも確保されます。特に子どもや高齢者にとって、精神的な負担が軽減されます。



今からできる家の対策

つっぱり棒

家具と天井の隙間に設置します。



また、高いところにもものを置かないようにしましょう。

ブロック塀の撤去

倒れて歩行者を巻き込む危険性があります。

★補助あり ID 20210424

粘着マット

粘着性のゲル状のもので、家具の底面と床面を接着させます。

L字金具

家具と壁を木ねじ、ボルトで固定します。

★補助あり

ID 0205634



感震ブレーカー

揺れを検知すると自動的に電気の供給を遮断し、電気火災を防ぎます。

★補助あり ID 0130346

ガラス飛散防止フィルム

窓ガラスやガラス扉のある家具に貼り、割れたガラスが飛び散らないようにします。

「人が多い場所は落ち着かない」「避難所に入れない」「余震が怖い」「プライバシーが守られるか不安」でも家が壊れて在宅避難ができない…。

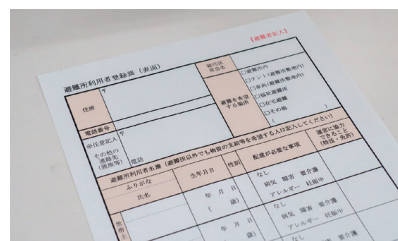
車中泊避難という選択肢も



車中泊避難はスペースの制限があるものの、周りを気にせず過ごすことができます。ただし、窮屈な場所での生活となり、エコノミー症候群の危険性があるので、適度な運動を心がけましょう。

在宅避難でも 車中泊避難でも

＼物資の供給が受けられます！



避難所で「避難所利用者登録票」を提出すれば、食料や物資の支援を受けられます。